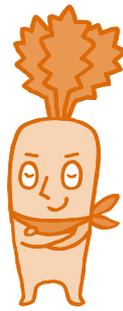


ともに

おおむらのまちで

暮らそう



市のバリアフリーマスコット  
ニンジンの「ゴスン君」

市内には、6,000人を超える人が何らかの障がいを持って暮らしています。

「知的障がい者教育・福祉の母」として有名な石井筆子を送り出した大村市。

「障がい者など誰もが安心して暮らせるやさしいまち」をつくるにはどうしたらいいのかわちよつと考えてみましょう。



障がい者である前に、一人の人間であり、妻であり、母親であると思っています。

子どものころは、どんなお子さんでしたか？

よわむしでわがままでおとなしい子でした。

今の印象とはちよつと違っていたんですね。

今の私があるのは、長崎市内のヘルパーステーション



はぎわら けいこ  
萩原 圭子さん

まずは、魅力的なお二人を紹介しまーす!



萩原さんは、30歳代前半のお母さん。12月には二人目の子どもさんが誕生する予定です。物静かな表情からはちょっと想像できない、強い意志とパワーを持ったすてきな女性です。

で働いた経験が大きいと思っています。ヘルパーさん  
とどう関わっていくかなどとても勉強になりました  
。朝8時ごろの電車に乗り、帰りは午後7時ごろ  
の電車です。帰る日々を送っていました。2年目からは  
仕事にも慣れましたが、残業のため終電で帰るこ  
ともありました。

**お子さんは、萩原さんのお体について何かお話を  
されることがありますか？**

長男は保育園に通う5歳児ですが、年齢のわり  
にしっかりしたことを言ったりします。「ぼくはお父  
さんとお母さんを助けるために生まれてきたよ。」  
と話したときはびっくりしました。

**障がいを抱えていらっしゃる人や市民の皆さんに  
メッセージがありますか？**

まず私は、障がい者である前に、一人の人間であ  
り、妻であり、母親であると思っています。この夏、  
買い物に出かけた時、道端で具合が悪くなっておら  
れる高齢者の人を家まで送っていききました。電動車  
いすだったので、家に戻るまで2時間くらいかかり  
ました。困った人がいれば、お互いに助け合いなが  
ら共に暮らしていける社会であって欲しいと強く思  
います。

また、障がいを抱えていらっしゃる人には、あまり  
自分で身構えず、周囲の人に頼りながら生きてい  
たら良いと言いたいです。私は、家庭以外にも多く  
の自分の居場所が必要だと思えますので、これから  
も少しずつ活動の場を広げていきたいと考えてい  
ます。



立野 雄三さん

立野さんは、20歳代後半のスポーツマンで、  
愛称は「イッキュウさん」。彼の笑顔は、周囲の人  
をととても穏やかで暖かい気持ちにしてくれます。

**障がいを抱えている人には「外に出  
てください。地域に出てください。」と  
言いたいです。**



**ご両親はどんなふう立野さんを育てられましたか？**

過保護でもなく、どちらかと言えば放任型で育て  
られたと思います。友達とよその家のビワを取ったと  
きは、ひどく怒られました。

**やんちゃだったんですね。学校生活はいかがでした？**

小学校から高校まで養護学校に通いました。良い  
先生にも恵まれましたので、養護学校に行つて良かつ  
たと思います。大学は諫早の大学に行きました。

大学ではとても親しい友人ができました。彼はよく  
家に遊びに来てくれたのですが、ある時私が「家に来  
てくれてありがとう。」と言ったら「障がいがあつて大変  
だからとか、かわいそうだから」という気持ちで来ている

のではない。一緒にいるのが楽しいから来ているんだ。」  
と言ってくれました。本当に嬉しかったです。彼とは、  
今も風船バレーで一緒にプレーをする仲間です。

**立野さんはピア・カウンセリングに携わっておられ  
ますが、身体に障がいがある人を対象にされているの  
ですか？** ※同じ障がいを抱えた仲間での相談業務

知的障がいや精神障がいのある人、また中途で障が  
いを持たれた人もいらつしゃいます。大切なことは、相  
談者の心に寄り添いながら話を傾聴することではな  
いでしょうか。相談者から「今日は1人で外出するこ  
とができました。」など話を聞くととても嬉しくなり  
ます。

**これからの抱負などを教えていただけますか？**

障がいを抱えている子どもたちが社会に出てても住  
みやすい社会環境にしたいです。

また、親や学校には相談できない思春期特有の悩  
みなどの相談も受けていきたいと考えています。私  
は、幸いそのような悩みを聞いてくれる人が周りにい  
たので良かったのですが、親や学校以外に話せる場所  
も必要です。

とにかく障がいを抱えている人には「外に出てくだ  
さい。地域に出てください。」と言いたいです。長崎市  
まで電車で通勤していますが、乗降に介助が必要なの  
で最初はとても不安でしたが、今では駅員の人も気  
軽に声をかけてくれますし、子どもたちもよくあい  
さつしてくれます。歩道の段差や傾斜などが改善  
されるともっと生活しやすいですね。

身体障がい者

心臓やじん臓、直腸などに障がいがある人も含まれ、外見からは障がい分からないこともあります。今年度から重い肝臓機能障がいの人も含まれました。

知的障がい者

根気が必要な仕事などに対して健常者より熱心に取り組める人も多くいます。判断能力が不十分なため財産などを保護する必要があるときは、成年後見制度という制度を利用できます。

精神障がい者

医療機関に入院していても、周りの人たちのサポートがあれば地域で暮らせる人も多く、当事者会もあって地域での生活を支援しています。

発達障がい者

(自閉症、アスペルガー症候群など)

コミュニケーションがうまくとれなかったり、読み書きなど特定分野の処理が困難で日常生活に支障をきたしている人もいます。この人たちを支援する法律が平成17年に施行されました。

高次脳機能障害

交通事故や病気などで脳に損傷を受け、言葉の意味や家までの道のりなどが分からなくなったり、性格まで変わってしまうこともあります。精神障害者保健福祉手帳を取得することが可能な場合もあります。

障がいを抱えている人からの情報発信もとても大切だよ!



市内でも、さまざまな障がいを抱えている人たちが暮らしています。外見からは、その障がいが多く分からなかったり、支援して欲しいこともそれぞれ違ったりします。  
家族や医療、教育、福祉に携わる人たちだけでなく、誰もが障がいについて少しでも理解を広めてもらうと、もっと暮らしやすくなります。

提案 1

さまざまな人を受け入れる心の余裕  
(心のバリアフリー)を持とう!

難病、小児慢性特定疾患

病気の原因がわからず、治療方法があまり確立されていない重い病気や子どもの病気、治療が長期にわたり医療費が高額になるものに対しては、国が治療方法の研究や医療費の助成をしているものもあります。

国際シンボルマーク



このマークは、全ての障がい者が利用できる施設であることを示す世界共通のマークで、車いす利用者を限定して表すものではありません。

例えばこのマークが付いた駐車場では、知的障がい者が同乗している場合、急にドアを開けて隣の車を傷つけないように間隔をあけて止めたり、歩行に支障のない聴覚障がい者などは利用を控えています。

視覚障がい者のための誘導用ブロック



視覚障がい者がスムーズに歩行できるように、歩道や駅などに設置されています。

せっかく誘導ブロックが設置されていても、自転車が置いてあったり、お店の商品が並べられたりしていたら使えません。

健康な人や歩行に支障のない人はゆずりあってね。



提案 2

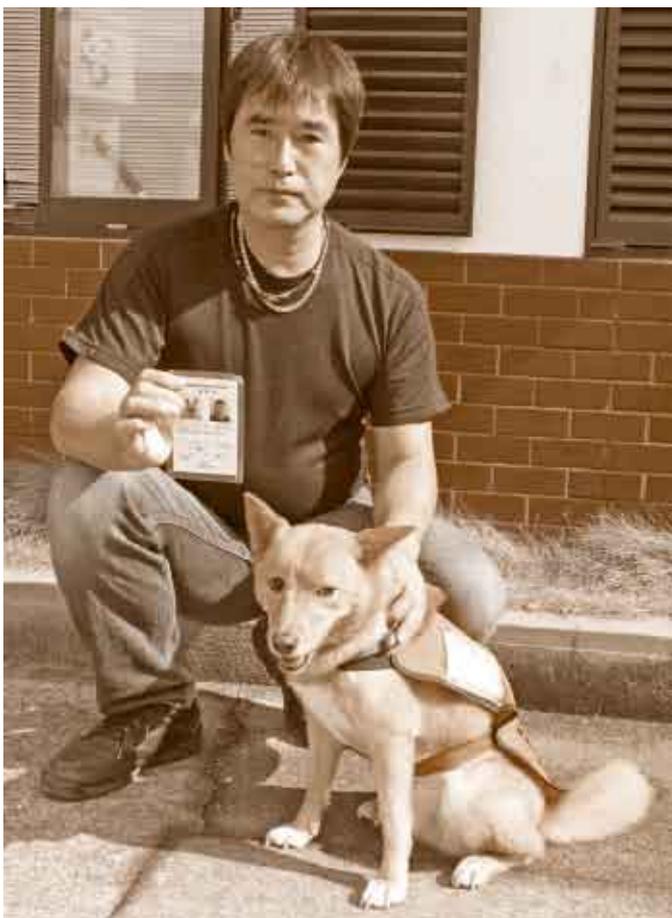
施設などのバリアフリー  
について考えてみよう!

提案 3

身体障害者補助犬を受け入れよう！  
(盲導犬、介助犬、聴導犬)

平成14年に身体障害者補助犬法が成立し、盲導犬のほかにも、手足や聴覚に障がいを抱える人の手助けをする介助犬や聴導犬も法的に位置づけられました。  
公的機関や不特定多数の人が利用する民間施設(商店、飲食店、宿泊施設など)は、特別な理由がない限り身体障害者補助犬を受入れることが義務づけられています。

盲導犬のほかにも  
介助犬や聴導犬も障  
がい者を手助けして  
いるんだね！



みやもと つとむ たけ  
宮本 努さんと聴導犬の「武」

理容室を経営する宮本さんは聴覚に障がいがあるため、身体障害者補助犬認定証を取得し、聴導犬「武」と生活しています。

「武」は呼び鈴や仕事で使う器材の音などを聞き分けて宮本さんに知らせています。



衛生グッズはいつも持ち歩きます



●万が一トラブルが発生したら？  
県障害福祉課、認定証に記載された訓練事業者などに相談ください。



補助犬受け入れのステッカー  
店舗の入口などに貼ってください。  
※障害福祉課で配布しています。

補助犬は家を出たら障がい者のために仕事で  
す。触ったり、声をかけたり、気を引いたりする行動は  
やめて、そっと見守ってください。

私たちにも説明して理解を求めましょう。  
単なる「犬嫌いだから」などの理由で拒否はできま  
せんが、犬アレルギーの人がいらつしゃる場合は、席を  
替わるなどの配慮をしてください。

●実際にお店に来られたときの対応は？  
まず、ペット犬と区別するため、胴着の表示や使用  
者が持っている認定証で補助犬であることを確認して  
ください。

飲食店などで周りにお客さんがいる場合は、その人  
たちにも説明して理解を求めましょう。  
宮本さんも必ず衛生グッズを持って外出します。

●補助犬の使用者は厳しい行動管理や衛生管理を行って  
います！  
定期的なシャンプーやワクチン接種、健康診断など  
を行い、常に補助犬を清潔に保っているため、公衆衛  
生面での心配はいりません。また、食事のときなども  
おとなしくテーブルの下で伏せて待つように訓練され  
ていますので、むやみに吠えたり、排泄などで迷惑を  
かけることは決してありません。

■障害福祉課 ☎ 7306